

甲賀の自然に浸る 沉浸于甲賀的大自然中

親子森づくり体験

甲賀市大原ダムキャンプ場

5月20日、甲賀市国際交流協会解散総会ならびに一般社団法人甲賀市国際交流協会設立記念総会を開催

2005年に任意団体として設立した甲賀市国際交流協会の解散総会と2022年12月に登記など手続きを終えた一般社団法人甲賀市国際交流協会の設立を記念した総会を開催しました。

合併前の旧町から続く交流を大切にしながら、今後は時代のニーズにあった活動を展開できるよう新たな一歩を踏み出しました。

総会には、岩永市長様、谷永議長様はじめ多くのご来賓の皆様にもご臨席賜り、これまでの協会の取り組みや今後の協会の活動に対し、ねぎらいと期待のお言葉を頂戴しました。また、旧協会の解散総会ということもあり、旧協会の設立当初よりご支援いただいている会員の方もたくさんご出席くださり、活動紹介写真を懐かしそうに眺めておられるお姿もありました。



第37回 利川陶磁器祭りに甲賀市のブース出展

4月25日～29日、利川市からの正式招待を受け、副会長の山下・水谷が市の職員と共に利川市を訪問しました。

ブースでは信楽焼の展示や甲賀市の案内パンフレットなどを準備し、多くの利川市民の皆さんに甲賀市の魅力を紹介できました。

また、利川文化院を訪問して、今年度の甲賀市からの市民訪問団派遣と次年度の利川市からの訪問団受け入れについて、顔を合わせて打ち合わせができました。双方の希望などを出し合い良い話し合いができたと思います。

そして今年度から甲賀市の小学校との交流を予定している、新屯（シドゥン）初等学校を訪問。校長先生はじめ担当の先生方と大変前向きなお話できました。27日からは岩永市長さんなどと共に利川市長表敬訪問や芸術団の公演見学、陶磁器祭りの開会式出席など、有意義な利川市訪問となりました。



表紙写真 2023年上下流連携の森づくりの集いより 7/30



甲賀愛林クラブが主催する恒例の親子森づくり体験が、鈴鹿山脈のふもとにある大原貯水ダムで開催され、約80名の参加がありました。本事業は、県・市の後援のもと、下流の豊中市消費者協会、豊中市民環境会議アジェンダ21と共催し、市民のみなさんに、森づくりにつながる活動を促すものです。市内からは初めて中国人2家族が参加され、親子で皮はぎ間伐、薪割り体験、チェーンソー実演、カブトムシのプレゼント、お昼には、ジビエの焼肉など森の中での自然体験を満喫されたことと察します。どれも新しい体験で、子どもさんには、楽しい思い出の夏休みとなったことでしょう。



親子まき割り体験

「新屯小学生とオンライン交流会」

今回で3回目となる、利川市の小学生とのオンライン交流会ですが、今回は利川市にある新屯小学校の小学生10名と甲賀市の小学生10名がオンラインで交流しました。

まず、新屯小学校の先生から利川市紹介、協会からは甲賀市紹介をしました。利川市は、信楽と同じく陶器で有名な町で、面積は同じくらいですが、人口は甲賀市の3倍という大きな町です。

次に、日本語と韓国語を使った簡単なゲームでリラックスしたのち、全員が自己紹介。

その後は事前に希望を募っていた、両市から5組ずつに、相手に紹介したいことを自分で決めて、それについて発表してもらいました。利川市からは、利川米、新屯小学校、K-pop、利川の陶器、韓国料理について、甲賀市からは、お菓子、信楽焼、K-pop、風船のおもちゃ、イチゴ大福について発表がありました。一人ひとり事前に準備をして、市の代表となって堂々と相手の国の友だちに自国の文化を紹介してくれました。

小学生からは、新しい友だちができてうれしかった、相手の市の知らないことがわかった、利川市と甲賀市に似ている所があることがわかったなどの感想がよせられました。保護者からは、容易にできない外国の友だちと交流するという貴重な体験ができたなどの感想をいただきました。

今回参加してくれた20名は、この交流会の後、2人ずつペアを作り、よりお互いを知りより仲良くなれる Flat Kids Project という手紙交流プログラムに夏休みの期間チャレンジしてもらっています。



利川市児童と保護者

- ❖ 日本語が韓国語と似ていることがわかりました
- ❖ 日本の小学生と一緒にオンラインで出会えたことが真新しく楽しかったです。
- ❖ 今後、オンラインだけでなく、直接お互いの学校や家庭を訪問する交流につながることを希望します
- ❖ オンライン交流という新鮮なプログラムに保護者の期待感が大きく、次第により幅広い交流を通じて、子どもたちに多くの経験と体験を積む契機になればと思います。

感想

甲賀市児童と保護者

- ❖ 利川市は陶器以外に米、桃、温泉など有名なことを知った
- ❖ 利川市の新屯小学校が大きくてすごく楽しそうだった
- ❖ K-pop や韓国の文化が好きな娘にとって本当に良い経験をさせていただきました。普段そこまで積極的に見える方ではないのですが、自分の好きなものに対しては、ダンスの練習をしたり、その時の服を選んだり発言したりなど、親として娘をととても頼もしく感じられました。

毎週土曜日に開催！ こども学習サポートがんばっています

できる時にできることをして総力結集！ どの子ども社会のたからです！

外国にルーツをもつ小学生・中学生への学習支援を『こども学習会』として、毎週土曜日午後2時から4時まで「まるーむ」で開催しています。

甲賀市には日本語が十分に分からない子どもや、日常生活での日本語は話せるのだけれど教科の学習が思うように進まない子どもたちが多くいます。そのような子どもたちに寄り添い、少しでも学校の勉強が分かるようになり学校生活が楽しくなるように、また将来的には高校進学を実現できるようにと願い活動を進めています。

今年度、学習会に参加登録している児童生徒は約10名ですが、いつからでも参加できます。また、ボランティアとして登録いただいている方は25名で、年齢や経験もいろいろな方がおられます。それぞれの方の都合に合わせて無理のない形で参加していただいています。一人でも多くの子どもたちの支えになればと願い私たちはがんばっています。



新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、地域住民による交流イベントが再開される中、当協会が後援する地域の国際交流事業「希望ヶ丘ポットラックパーティー」が7月2日（日）、希望ヶ丘団地内にある草の根ハウスにて開催されました。



今回は希望ヶ丘周辺からの日本人・外国人住民の参加もあり、25人（5各国）が集まりました。各国の家庭料理を持ち込み、料理の説明を聞いてから楽しく、食べながら交流しました。

初めて参加したネパール人の家族は、子どもの教育や将来のことについて不安があり、参加者同士で相談に乗って、支援を受けられる場所を紹介されました。

このようなイベントは、市内で暮らす外国人住民が気楽に相談できる場でもあり、その時の様子を見て感じました。今後も交流しながら、日ごろからの悩みを聞き、必要な支援につなげられる場にもなればよいと思います。

にんにん横丁に出店！ 甲賀流にんにん大花火2023

昨年に続き、今年も夏の一大イベントである花火大会でペルー料理、ブラジル料理を出店しました。

どちらも長蛇の列ができるくらい好評で、多くの方にブラジルやペルーの料理を味わっていただくことができました。

ブラジル料理は、キッチンカーで移動販売をされている会員の高橋ファミリーにエスペチニョ（ソーセージと牛肉の串焼き）を作っていただき、ペルー料理は、総菜製造・菓子製造をされている会員のベロスファミリーにチキンタコスとミートパイを作っていただきました。暑い中、ありがとうございました！



Together

世界の変わった環境への取り組み

2015年、パリ協定では気候変動の国際的枠組みが取り決められました。現在、世界各国では脱炭素に向けた取り組みが積極的になされています。世界の変わった取り組みということで、インドネシアの企業『AVANI』社をご紹介します。

中南米やアジア諸国で食されるキャッサバ芋はご存知ですか？同社は、この芋を使って“食べることのできるレジ袋”を開発しました。この袋の特徴は、人や動物が食べても無害、90日以内に土に還り、80度以上のお湯で溶けます。環境問題と聞くと少し堅苦しくなりますが、ユニークなアイデアで環境問題を楽しんで取り組めると良いですね。



Koka International Society 一般社団法人 甲賀市国際交流協会

〒528-0005 甲賀市水口町水口 6053 甲賀市役所別館 2F 月～金（祝日除く AM9:00～PM5:30）

TEL:0748-63-8728 FAX:0748-70-6468 Email: mifa@mx.biwa.ne.jp

